


事業名		図書室 おはなし会			
予算	歳入予算 (円)	歳入実績 (円)	歳出予算根拠 (円)	歳出実績 (円)	
平成4年度			単価 1,170円×3時間×2人×43回=301,860円 単価 1,170円×3時間×4人×2回=29,080円 別途、材料費(折り紙・シール等)	329,940	
令和5年度			単価 1,210円×3時間×2人×44回=319,440円 単価 1,210円×3時間×4人×2回=29,040円 別途、材料費(折り紙・シール等)	348,480	
事業の位置付け	根拠法	社会教育法、狛江市立公民館条例、狛江市立公民館条例施行規則			
	市の基本計画	狛江市前期基本計画 まちの姿6「生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち」 施策6-①「地域における学びの充実」方向性2「生涯を通じた学びの実現」 第3期狛江市教育振興基本計画 基本方針(4)生涯を通じた学びの充実 ①学びの環境づくり「地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。」			
事業目的	子ども達が本や言葉に親しむきっかけづくり。絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居や折り紙、季節の工作、季節の伝統行事に関連した内容を盛り込み、子ども達に本の楽しさを知ってもらうとともに、文化についても学んでもらう。多彩なプログラムにより親子にも楽しんでもらう。		持続可能な開発目標 (SDGs)		
事業内容	開催頻度	毎週木曜日・月1回(土・日)			
	新規・継続	継続	実施主体	市	
	実施対象	市民	参加者数	延 193人	
事業評価 ＜評価視点＞	評価項目	評価理由		評価	
	A：進捗している・期待どおりの成果がでている B：現状維持・ある程度の成果がでている C：あまり進捗していない・あまり成果がでていない D：まったく進捗していない・まったく成果がでていない	＜企画・計画性＞ 実施するにあたって企画を深められたか 計画的に実施することができたか	▼例年同様の事業とはなっているが、担当職員全体でミーティングを行ったり、他のおはなし会グループとの交流を通じて問題点の抽出を行いフィードバックすることで企画自体の研鑽を行っている。		公民館 B 公運審 C 全体 C
		＜周知＞ 市民に周知されているか	▼チラシ等を作成し、地域センター・近隣の幼稚園等に配布したり、「広報こまえ」等の周知を行っている。		公民館 B 公運審 B 全体 B
		＜実施・運営＞ 事業の実施に伴い、人員、設備、衛生面等は適切であるか	▼事業の実施に必要な人員及び設備は確保している。衛生面においても万全を期している。 ▼公民館の利用団体と連携をして、特別おはなし会を実施している。		公民館 B 公運審 B 全体 B
		＜満足度＞ 参加者にとって満足のいく内容であったか 利用者のニーズを反映できているか	▼参加者からは、絵本の読み聞かせ、紙芝居、折り紙、季節の伝統行事等の内容を盛り込むことで、親子で楽しめる工夫があり、参加者から大変好評である。		公民館 B 公運審 C 全体 C
		＜達成度＞ 公民館が目的を達成できたか 市の課題解決に役立っているか	▼おはなし会を実施することで、本や言葉に親しむきっかけづくりとなる。親子で本を楽しむ文化についても学べることで様々な情操教育につながっている。 ▼地域における学びの充実、学びのための第一歩として親子で楽しめる内容となっていて、課題解決に役立っている。		公民館 B 公運審 B 全体 B
今後の課題		▼児童館や地域センターにおいても、おはなし会を実施しているため、西河原公民館図書室として差別化を図るため、もう少し小さい子ども向けを対象対応を検討する必要がある。 ▼木曜日の午後のみ実施しているが、参加人数に減少傾向がみられる。今後は、木曜日以外の実施についても検討する必要がある。 ▼さらに市内のおはなし会関連団体との連携を促進する必要がある。 ▼おはなし会で使用した本を展示する等、図書室の利用促進につながるようなおはなし会の実施を検討する。 ▼図書室に公民館関連の図書ブースを設け、公民館の取組等をより知ってもらえるようにする。			
総合評価	▼なぜ参加者が減少しているのか、その理由を分析していただきたい。 ▼参加者のニーズに合った企画ができてきているのか見直していただきたい。 ▼参加型の行事や公民館利用団体とのコラボをより多く行っていただきたい。 ▼子供向けにも映像資料を活用したイベントなどを行うよう検討していただきたい。 ▼保護者にも図書室から公民館での活動に興味を持ってもらえるような仕組みづくりを検討していただきたい。				